

科目名	柔整介護実践Ⅰ					
分野	その他の分野	担当教員	若菜翔哉, 金子巧			
開講時期	2学年 3学期	単位数	講義	実技	演習	実習
時間数	30				2	
科目の概要	柔道整復師が関わる様々な介護現場において必要とされる知識および技能を習得する. 内容としては, 日常生活動作の評価の仕方および介助技術, 介護を多角的に捉える思考性などを主に学び, 事例検討を通して臨床力を養う.					
学習の到達目標	柔道整復師が機能訓練指導を行うために必要な知識を習得する.					
成績評価の方法と基準	筆記試験100%					
使用テキスト	柔道整復師と機能訓練指導(機能訓練指導員養成テキスト) 全国柔道整復学校協会監修 南江堂					
参考文献						
実務経験を有する者	○					
講義計画	講義内容					
1	日常生活活動(歩行等)の評価/分析方法①【講義&演習】					若菜
2	日常生活活動(歩行等)の評価/分析方法②【講義&演習】					若菜
3	日常生活活動(歩行等)の評価/分析方法③【講義&演習】					若菜
4	介護予防とフレイル・サルコペニア【講義&演習】					若菜
5	復習(講義計画1～4の内容)【講義&演習】					若菜
6	日常生活活動(起居動作等)の評価方法①【講義&演習】					金子
7	日常生活活動(起居動作等)の介助方法①【講義&演習】					金子
8	日常生活活動(起居動作等)の評価方法②【講義&演習】					金子
9	日常生活活動(起居動作等)の介助方法②【講義&演習】					金子
10	日常生活活動(移乗動作等)の評価方法①【講義&演習】					金子
11	日常生活活動(移乗動作等)の介助方法①【講義&演習】					金子
12	日常生活活動(移乗動作等)の評価方法②【講義&演習】					金子
13	日常生活活動(移乗動作等)の介助方法②【講義&演習】					金子
14	全体復習					金子
15	総合評価(まとめ):筆記試験					金子

(2026年度)